

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動器系理学療法学		必修	2	3	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
粕山 達也 他	D311	kasuyama	月曜日 14:40~16:10		
授業の目的・概要	骨関節障害を引き起こす主な疾患の病院、病態生理、症候、診断について学ぶ。運動器疾患に対する理学療法士としての思考過程を理解し、各病態に対応した評価に関する検査・測定 of 技術を身につけ、理学療法計画の立案ができるようになることを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	運動器疾患の基本的な知識を整理し、部位・疾患別に講義を行う。基礎科目の知識を応用し、理学療法の実際に転換する思考を学習する。				
教科書	Crosslink 理学療法学テキスト 運動器障害理学療法学 第1版/編集：加藤浩/メジカルビュー社				
参考書	特に指定なし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	運動器疾患の病態について理解する。			PT(1)、(5)	
②	各運動器疾患に対する理学療法評価を立案することができる。			PT(1)、(5)、(6)	
③	運動器疾患に必要な検査・測定を行うことができる。			PT(1)、(5)、(6)	
④	評価結果の解釈をし、理学療法計画を立案することができる。			PT(1)、(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	運動器系理学療法総論について学習する。 [担当；粕山]	講義	運動器疾患の概論の課題について実施する	2	
2	変形性股関節症について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	変形性股関節症の課題について実施する	2	
3	変形性膝関節症について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	変形性膝関節症の課題について実施する	2	
4	脱臼、靭帯損傷 (肩関節脱臼、前十字靭帯損傷等) について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	肩関節脱臼、前十字靭帯損傷の課題について実施する	2	
5	靭帯損傷 (足関節靭帯損傷。半月板損傷について学習する。 [担当；粕山])	講義・実技	靭帯損傷、半月板損傷の課題について実施する	2	
6	肩関節周囲炎、腱板損傷について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	肩関節周囲炎、腱板損傷の課題について実施する	2	
7	慢性関節リウマチについて学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	慢性関節リウマチの課題について実施する	2	
8	運動器不安定症について学習する。 [担当；坂本 (祐)]	講義・実技	運動器不安定症の概要についてまとめる	2	
9	骨折、足部障害について学習する。 [担当；坂本 (祐)]	講義・実技	骨折の概要についてまとめる	2	
10	骨折 (大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折等) について学習する。 [担当；関口]	講義・実技	骨折の概要についてまとめる	2	
11	脊髄損傷 (頸髄) について学習する。 [担当；関口]	講義・実技	脊髄損傷の概要についてまとめる	2	
12	脊髄損傷 (腰髄) について学習する。 [担当；関口]	講義・実技	脊髄損傷の概要についてまとめる	2	
13	脊椎疾患、腰痛症について学習する。 [担当；関口]	講義・実技	脊椎疾患の概要についてまとめる	2	
14	骨壊死疾患、骨形成不全 (側弯症) について学習する。 [担当；関口]	講義・実技	骨壊死疾患、骨形成不全 (側弯症) の概要についてまとめる	2	
15	運動器疾患に関する考察の仕方について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	運動器疾患についてまとめる。	2	
試	定期試験				

達成度評価

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	40	0	0	0	0	40	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	0	10	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	各疾患の病態に対する理解、理学療法評価・理学療法計画ができるかを確認するために筆記試験（国家試験形式）を行う。				終了後、確認に来た学生には、答案の解説を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
備 考								
他 担 当 教 員	関口 賢人、坂本 祐太							
教員の実務経験	理学療法士（臨床経験 16 年） 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 10 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（臨床経験 16 年、資格取得後 6 年）							
実践的授業の内容	臨床現場に多い運動器系疾患に関する講義を行い、症例を提示した実践的な学習課題を提供する。疾患特異的な評価方法の実際や治療手技の内容を指導する							
そ の 他	課題のフィードバックは、課題の解説にて返却する。意見交換については、原則として授業時間内にメールや Teams でも随時対応を行う。 今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。							